

# 令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県立広島産業会館		
所在地	広島市南区比治山本町12-18		
設置目的	産業及び地域の振興に資する		
施設・設備	展示場(9室), 会議室(1室), 控室等(13室), 駐車場(平日 389 台/土日祝日 456 台)等		
指定管理者	4 期目	H28. 4. 1~R3. 3. 31	(公財) ひろしま産業振興機構
	3 期目	H23. 4. 1~H28. 3. 31	(公財) ひろしま産業振興機構
	2 期目	H20. 4. 1~H23. 3. 31	(公財) ひろしま産業振興機構
	1 期目	H17. 4. 1~H20. 3. 31	(財) ひろしま産業振興機構

## 2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	面積稼働率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
		4 期	R2	48.0%	—	—
R1			50.0%	51.3%	△3.3ポイント	1.3ポイント (102.6%)
H30			50.0%	54.6%	2.3ポイント	4.6ポイント (109.2%)
H29			51.0%	52.3%	△1.4ポイント	1.3ポイント (102.5%)
H28			50.0%	53.7%	6.9ポイント	3.7ポイント (107.4%)
3 期平均 H23~H27		45.0%	46.8%	6.5ポイント	1.8ポイント (104.0%)	
2 期平均 H20~H22		43.7%	40.3%	△6.4ポイント	△3.4ポイント (92.2%)	
1 期平均 H17~H19 H16 (導入前)		—	46.7% 41.0%	5.7ポイント —	— —	
増減理由	2 月下旬からの新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用取消が相次いだことにより, 前年度を下回った。					

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	催事主催者アンケート	243 件回収 (352 件のうち回収率 69%)
	【主な意見】	【その対応状況】
	西館の机のキズが気になる。	机 (50 脚) を更新した。
	東館トイレが老朽化により使い勝手がよくない。	多機能トイレに対応するよう県により改修した。
	音響設備の対応で苦慮した。	貸出用ポータブルワイヤレスアンプを更新した。
(参考) 催事主催者満足度(アンケート回収率 69.0%) ① スタッフ対応 満足 84.8%(H30 83.5%) ② 施設・設備 満足 66.7%(H30 62.4%) ③ 開催目的の成果 満足 68.7%(H30 58.8%) ④ 今後の利用意向 したい 92.2%(H30 88.6%)	催事主催者アンケートの満足度については, いずれも前年度を上回った。	

## 4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	利用状況報告書
	日報 (必要随時)	○	必要時に, 随時電話 (及びメール) で報告
会議 (随時)	【指定管理者の意見】 本館・東展示館は築 49 年, 西展示館は築 29 年と老朽化しており, 修繕の規模や目的, 性質により県との役割分担を明確にした上で対応する。		
現地調査 (随時)	【県の対応】 指定管理者と連携し, 長期保全計画による修繕及び利用者ニーズを踏まえた設備等の改修を進めていく。		

## 5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	R1	—		—	料金 収入 (決算額)	4期	R1
H30			—	—	H30	338,617			△791
H29			—	—	H29	339,408			△17,421
H28			—	—	H28	356,829			43,212
3期平均 H23～H27		—	—	3期平均 H23～H27		313,617		57,552	
2期平均 H20～H22		—	—	2期平均 H20～H22		256,065		△43,297	
1期平均 H17～H19		—	—	1期平均 H17～H19		299,362		62,242	
H16 (導入前)		—	—	H16 (導入前)		237,120		—	

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R1 決算額	H30 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	—	—		
		料金収入	336,579	338,617	△2,038	利用料金制(※1) 2月下旬からの新型コロナウイルス感染症に伴う催事中止による減
		その他収入	2,694	2,259	435	
		計(A)	339,273	340,876	△1,603	
	支出	人件費	40,848	32,802	8,046	派遣職員から契約職員への切り替えによる増
		光熱水費	30,385	29,542	843	
		設備等保守点検費	7,642	7,737	△95	
		清掃・警備費等	67,736	71,712	△3,976	清掃業務等見直しによる減
		施設維持修繕費	41,357	31,948	9,409	本館ロビーリノベーションによる増
		事務局費	41,368	54,122	△12,754	委託業務縮減等による減
		その他	4,256	4,077	179	
	計(B)	233,592	231,940	1,652		
	収支①(A-B)		105,681	108,936	△3,255	
	自主事業 (※2)	収入(C)	0	0	0	
支出(D)		0	0	0		
収支②(C-D)		0	0	0		
合計収支(①+②)		105,681	108,936	△3,255	固定納付金 97,000千円 変動納付金 8,680千円	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。  
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
<p>施設の効用発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の設置目的に沿った業務実績</li> <li>○業務の実施による, 県民サービスの向上</li> <li>○業務の実施による, 施設の利用促進</li> <li>○施設の維持管理</li> </ul>	<p>施設のリノベーションとして本館ロビー内装リニューアルを行うとともに, 2階展示場扉, 階段廊下等の内装の更新, 老朽化した本館西側外階段の補修を行った。</p> <p>ゴールデンウィークにマスコミと連携して子供向けイベントを開催した。(4月27日～5月6日開催, 来場者 25,000名)</p> <p>県内ものづくり企業のイノベーション支援のため, 令和2年2月に「ひろしまAI・IoT進化型ロボット展示会を開催し, 展示・商談の場を提供した。(出展 50企業・団体・機関, 来場者 3,500名)</p> <p>「広島 BOX～メイド・インひろしまギャラリー～」や「C-LOUNGE デザインギャラリー」において, 県内製品等の展示等を行うとともに, 新たにオープンした「メッセひろしまギャラリー」において広島で活躍するクリエイターや企業等の新たな成功事例等を紹介した。</p> <p>「広島 BOX 企業と小学生の交流事業」において, 市内の5つの小学校(児童 366名)の校外学習(社会科見学)として, 食品製造企業4社による体験プログラムを通じて小学生の県内製品と企業に対する興味や関心を高めた。</p>	<p>利用者視点に立ったリニューアルを行うことにより, 満足度の向上及び利用促進に努めている。</p> <p>マスコミとの連携により集客率の高い催事を誘致する等, 利用促進に積極的に取り組んでいる。</p> <p>県内企業のイノベーション推進を目的とした展示会, 常設展示を通じた新製品・新技術の発信, 地元小学校への学習機会の提供等, 自主企画を通じて県の産業振興に大きく寄与している。</p>
<p>管理の人的物的基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○組織体制の見直し</li> <li>○効率的な業務運営</li> <li>○収支の適正化</li> </ul>	<p>本館ロビー内装の更新等施設のリノベーションを図りつつ, 変動納付金の確保に努めた。</p> <p>令和2年1月から, 中国電力との業務量電力契約の見直しを行い電気料金の縮減を図った。</p>	<p>固定経費の縮減により効率的な業務運営が図られ, 変動納付金を確保できている。</p>
<p>総括</p>	<p>令和元年度展示場延利用床面積は 1,015,190 m<sup>2</sup>で面積稼働率は 51.27%と目標の 50%を達成した。</p> <p>令和2年度の閑散期(お盆)における催事誘致を実現した。</p>	<p>2～3月は, 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う利用取消が多くあったにもかかわらず, 閑散期に催事を開催していたことなどから, 目標としていた面積稼働率を上回る実績を達成できた。</p>

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和2年度)	<p>○ 令和2年度は開館50周年を迎える年度であることから、その記念となる自主企画事業を実施する。</p> <p>○ なお、令和2年2月下旬から新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用取消が相次いでおり、施設管理者として、新型コロナウイルス感染症に係る国・県の対応方針に的確に対応するとともに、収支予測を堅実にを行い、事業の優先順位を付けて実行する。</p>	<p>○ 新型コロナウイルス感染症が終息するまでは、指定管理者と県とで連携し、拡大防止に向けた適切な運営を行っていく。</p> <p>○ 終息後は、県内産業の早期回復に向けて、産業会館の役割を果たすべく、県内製品の販路開拓・拡大の機会を積極的に提供していく。</p>
中期的な対応	<p>○ 施設のリノベーションに当たっては、東展示館・本館・西展示館全体の「リノベーションマスタープラン」(H27年度策定)に基づき、県が実施する大規模修繕工事と役割分担を図りながら計画的に推進する。</p>	<p>○ 指定管理者との連携により、計画的かつ効果的な修繕を実施していく。</p>